

長期インターンシップの可能性とその成果 — 高い教育効果を生み出す実践と課題 —

今年6月、文部科学省より「インターンシップの更なる充実に向けて 議論の取りまとめ」が公表され、今後、インターンシップは具体的な施策のもと、さらに推進されようとしています。そこでは、高い教育的効果を発揮するために長期インターンシップを目指していくべきことも述べられています。本フォーラムでは、長期インターンシップに加えて有給型として、先進的に展開している京都産業大学、新潟大学の実践事例から、今後の長期インターンシップの可能性、高い教育効果を生み出すための企業との協働のあり方、実践する上での課題とその克服方法等について、大学、企業、学生、それぞれの視点から、議論を深めていきます。

開催日時 2017年 10月 28日 土 13:30～17:00 (開場13:00)

場所 京都産業大学 むすびわざ館 3階 3-A 教室
(JR「丹波口駅」徒歩4分、阪急「大宮駅」徒歩7分)

主催 一般社団法人 産学協働人材育成コンソーシアム
京都産業大学、新潟大学

定員 100名 (先着) ※事前申し込み制
(高校、大学、企業、自治体、経済団体等の関係者)



プログラム

一方的な情報提供ではなく、参加者との意見交換を交えて進めていきます。

開会挨拶

松高 政 (一社) 産学協働人材育成コンソーシアム代表理事 / 京都産業大学 経営学部 准教授

基調講演

「若手社員が育たない
— 大学における良質な体験の重要性と阻害要因 —」

豊田 義博 (一社) 産学協働人材育成コンソーシアム理事 / リクルートワークス研究所 主幹研究員

【講師略歴】 東京大学理学部卒業後、リクルートに入社。現在は、20代の就業実態・キャリア観・仕事観、新卒採用・就活、大学時代の経験・学習などの調査研究に携わる。著書に『若手社員が育たない』『就活エリートは迷走』（以上ちくま新書）、「上司」不要論。』（東洋経済新報社）、『新卒無業。』（共著 東洋経済新報社）、最近の論文に『良質な経験・学習』をもたらずもの・阻害するもの』がある。

取組報告

1 長期・有給インターンシップの取組概要—その仕組みと課題—

- 京都産業大学「むすびわざコーオププログラム」
- 新潟大学「長期・有償型インターンシップ」

参加学生報告

2 参加学生は何を学び、その後、どのように成長したか

- 京都産業大学参加学生 (2名) 及び卒業生 (プログラム参加者1名) (予定)
- 新潟大学参加学生 (1名)

受入企業報告

3 企業は、なぜ有給で長期間受け入れるのか

- 株式会社堀場製作所 グローバル人事部 人財開発・グローバル担当 副部長 加藤 法生 氏
- 京都信用金庫 人事部 副部長 田中 聡 氏
- 株式会社博進堂 代表取締役社長 清水 伸 氏

閉会挨拶

西條 秀俊 (一社) 産学協働人材育成コンソーシアム理事 / 新潟大学教育・学生支援機構キャリアセンター 准教授

申込方法

お申し込みフォーム 次の URL からお申し込みいただけます。

<https://jweb.kyoto-su.ac.jp/s/wform/moshikomi/event/855cc0008.php>

※申込締切 10月23日 (月)

※お預かりしました個人情報は、本フォーラムに関するご連絡及び本コンソーシアム事業のご案内以外の用途には利用いたしません。
※定員を超えた場合、お断りする場合があります。

お問い合わせ

京都産業大学 キャリア教育研究センター

〒603-8555 京都市北区上賀茂本山

TEL 075-705-3184 FAX 075-705-1939 Email career-daigakukan-renkei@star.kyoto-su.ac.jp